

# 安藤有輝

A n d o Y u k i



## 経験を求めて真庭に

「九州にある僕の実家も田舎なんです。田舎で廃れていくものだと思っていて、それで倉敷に住み始めたんですが。」と話す安藤さんは、大分県の豊後高田市出身。都会暮らしに憧れて倉敷市に部屋を借り、岡山県立大学に通っていましたが、安藤さんが真庭市にやってくるきっかけを作ったのが「地域学生団体ゆーまにわ」。2年前、大学を訪れたゆーまにわの「どうすれば田舎に大学生が来るか。」という問いに自ら応える様に安藤さんは原動機付き自転車にまたがり、真庭市に向かいました。

「僕たちが欲しいのは経験なんです。お金が欲

# 真

M A N I W A B I T O

# 庭人

## いろいろな生き方に触れ 自分の生き方を考える

しいなら倉敷でバイトをしていればいい。真庭には僕たちの話を聞いてくれる大人がいて、同じまちの仲間として接してくれます。ここには大学生が地域の人たちと一緒に活動し、経験を積むことができるフィールドがあります。」と、安藤さんは活動を続ける理由を話してくれました。

地域の願いと学生の思いをつなぎ、楽しい活動を生み出すことがゆーまにわの活動の基本。温泉旅館との連携事業、北房中学校での学習支援、地域イベントへの出店など活動はさまざま

地元団体しめ山プロジェクトの人たちと



次の企画に向け話をするメンバー

## 安藤有輝さん(落合垂水)

地域学生団体ゆーまにわ 代表

大分県豊後高田市出身。平成29年岡山県立大学入学し、その年の10月からゆーまにわに加入。翌年10月にゆーまにわ2代目代表に選ばれた。愛称は「タンクトップ」。

です。そうした中、安藤さんは多くの人と出会いました。「まちの人たちがいろいろな活動をしていて最初は驚きました。田舎で廃れていくものだと思っていたのに、田舎だからできることもあることに気づいて、ここに来て、自分の生き方を考えるようになりました。嫌だと思っていた田舎を好きになろうとしている自分があります。」と、今日も安藤さんの生き方探しは続きます。

「まにわびと」  
**04**

2019